



『ブロッケンの森のちっちゃな魔女』

アレクサンダー・リースケ / 原作 静山社

家で、魔女の魔法の本を見つけたミニー。本に書いてある魔法をほとんど覚えたミニーは、ちっちゃな魔女になり…。悪魔と魔女の夜祭りで有名なドイツのブロッケン山にすんでいる、ちっちゃな女の子ミニーの5つの物語。



『子ぎつねと音のなる石』

くすのき しげのり / 作 あかね書

旅する音楽家・ジンは、ふしぎな女の子に出会い、石をわたされる。それはたたくと音のなる石「カンカン石」で…。すみきった心と心にひびく美しい音の物語。

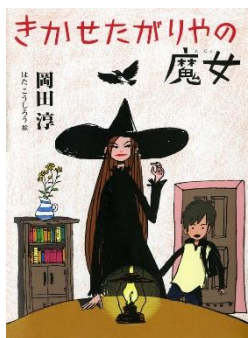


めい さく ほん 名 作 本 だ な

『きかせたがりやの魔女』

おかだじゆん
岡田 淳 / 作 偕成社

たいていの小学校には、魔女や魔法使いがいるらしい。ある日、「ぼく」の前に魔女としゃべるクロツグミが現れて…。小学5年生の男の子がきかせたがりやの魔女からきいた、6人の魔女と、魔法使いの話。



©イラストわんパグ ※本の紹介は、図書館流通センター「新刊全点案内」を参考



No.23

とっておきの1冊を 見つけよう

5・6年生 王寺町立図書館
2024年 秋号

ぴっく
あっぷ!

『サラの翼』

いなほ
稲葉 なおと / 著 講談社



旅は何が起きるかわからない。だから楽しいんだよ。なやみをかかえるサラと、いかげんなコウおじさん。凸凹コンビの珍道中は、予想外のトラブルとたくさんの出会いにいろどられて…。



たのしい おはなしが いっぱい



『エヴィーのひみつと消えた動物たち』

マット・ハイグ／作 ほるぶ出版



エヴィーは動物が大好き。でも、ただ動物が好きってだけじゃない。エヴィーには、特別なひみつがあって…。動物や環境問題、家族愛、やさしさ、いじめ、友情などを描いた、ちょっとハラハラ、ユーモアたっぷりの物語。

『ベビー・シッターズ・クラブ』

アン・M.マーティン／作 ポプラ社



アメリカに住む12歳のクリスティは、あるビジネスを思いつき、友だちと「ベビー・シッターズ・クラブ」を結成する。とんでもない依頼がきたり、仲間とケンカしちやったり、大変なことばかりだけど…。



『ごはん食べにおいでよ』

こてまり 小手鞠 るい／作 講談社



あたりには、焼き上がったばかりのパンの香りが満ち満ちている。パンの香りは、幸せの香りだ。パンの味は、元気のエッセンスだ。小手鞠るいによる料理×SDGsな青春小説。



『ぼくらは星を見つけた』

とちり 戸森 しるこ／著 講談社



丘の上にあるお屋敷に、住みこみの家庭教師としてやってきた岬くん。ご主人のそらさんと、10歳の星、ハウスキーパーのシドの「家族」として迎えられ、あたたかい日々を過ごす。しかし、この4人にはそれぞれ秘密があって…。

『丸天井の下の「ワーオ!」』

いまい きょうこ 今井 恭子／作 くもん出版



“元気印のマホ”が“読み書きが難しいマホ”という自分に絶望していた小六の夏。謎の美男子・正樹との出会いをきっかけに、この世で生きている存在意義を全身全霊で感じ…。



『おてんばヨリーとひげおじさん』

アニー・M.G.シュミット／作 岩波書店



今日は新しい特急列車が初めて走るお祝いの日。だが発車寸前、車掌のひげおじさんのところに小さな女の子ヨリーが「発車しちゃだめーっ!」と駆け込んできて…。

